

平成25年度

事業報告書

社会福祉
法人 中日新聞社会事業団

中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和12年4月設立の新愛知新聞社会事業団、翌年設立の名古屋新聞善行会から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間274件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立への手助け、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域の社会福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年7月	新愛知新聞社会事業団と名古屋新聞善行会が合併し、社団法人中部日本弘徳会を設立
昭和22年7月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和34年1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地(13,034㎡)の寄付を受ける
昭和35年4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部(金沢市)を設立
昭和57年3月	中日青葉学園は日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部(浜松市)を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年3月	中日新聞社会事業団東京支部(東京都千代田区)を設立
平成10年4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年5月	中日新聞社会事業団岐阜支部(岐阜市)を設立
平成12年6月	「中日福祉ボランティア賞」(愛・三・岐対象)創設
平成14年10月	中国障害者芸術団を招聘し名古屋、岐阜、東京、札幌で7公演を行い、延べ13,000人を動員
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に情緒障害児短期治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える

〈主な災害義援金〉

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～同17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆中国・四川大地震義援金	平成20年5月14日～9月8日	1,569件	101,708,939円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月11日～同26年3月31日	91,061件	8,927,222,924円
☆伊豆大島豪雨災害義援金	平成25年10月18日～3月31日	271件	7,202,259円
☆フィリピン台風災害義援金	平成25年11月12日～3月7日	623件	24,019,977円

平成 25 年度事業・寄附金件数

事業件数

	主 催	共 催	後 援	協力・協賛	そ の 他	合 計
本 部	8	14	130	1	0	153
北陸支部	6	2	33	1	0	42
東海支部	9	0	8	0	0	17
東京支部	3	0	6	4	0	13
岐阜支部	18	5	19	7	0	49
合 計	44	21	196	13	0	274

寄附金収入一覧

(単位：円)

	本 部		北陸支部		東海支部		東京支部		岐阜支部		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一 般 寄 附 金	279	30,150,716	108	1,949,484	20	788,890	10	184,233	63	3,024,094	480	36,097,417
年 末 助 け 合 い	231	20,091,077	25	639,172	68	2,270,791	20	503,944	54	2,027,040	398	25,532,024
指 定 寄 附 金	226	36,468,409	3	125,723	12	462,995	61	1,702,811	23	963,129	325	39,723,067
災 害 義 援 金	1,567	75,778,130	114	3,078,660	186	6,649,316	637	11,867,851	264	7,490,083	2,768	104,864,040
合 計	2,303	162,488,332	250	5,793,039	286	10,171,992	728	14,258,839	404	13,504,346	3,971	206,216,548

主な災害義援金

東日本大震災義援金

(平成23年3月12日～平成26年3月31日)

	件数	金額(円)
本 部	62,105	7,395,413,989
北 陸 支 部	1,793	79,253,533
東 海 支 部	5,812	482,138,036
東 京 支 部	6,608	175,425,475
岐 阜 支 部	14,743	794,991,891
合 計	91,061	8,927,222,924

フィリピン台風災害義援金

(平成25年11月8日～平成26年3月7日)

	件数	金額(円)
本 部	348	17,652,923
北 陸 支 部	16	1,178,677
東 海 支 部	31	1,683,026
東 京 支 部	157	2,076,756
岐 阜 支 部	71	1,428,595
合 計	623	24,019,977

※震災翌日からの合計金額

本部(名古屋)

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡を取り、事業団のスムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、平成25年度は153件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援・協力・協賛をし、地域に密着した取り組みを行った。

◇顕彰事業

(1) 第13回中日福祉ボランティア賞

東海3県下で地域の福祉を支えているボランティア団体、個人の活動を顕彰し、ボランティアの輪を広げることを目的に実施。

昨年11月に募集を始め推薦のあった47団体と4個人のうち、平成26年2月の有識者選考会、社内選考会を経て11団体(共同受賞を含む)、3個人に決定した。3月20日に中日新聞社6階ホールで贈呈式を行った。正賞のタテと副賞団体30万円、個人10万円を贈呈した。



受賞団体、個人の皆様

【団体】

笠寺おもちゃ病院	名古屋市港区
名古屋市親和会	名古屋市中川区
配食ボランティアグループ あいあい会	愛知県津島市
津島市民病院 ボランティア会	愛知県津島市
キツツキの会	愛知県北名古屋市
城南町福祉委員会	愛知県安城市
スリーハンズ友の会	愛知県長久手市
大垣手話サークル	岐阜県大垣市
ランチボックス ※共同受賞	岐阜県飛騨市
くちなしの会 ※共同受賞	岐阜県飛騨市
エンジェルハウス	三重県鈴鹿市

【個人】

近藤 京子	名古屋市瑞穂区
上野 和彦	愛知県日進市
西垣 清二郎	愛知県瀬戸市

(敬称略)

◇心身障害児・者福祉事業

(1) 障害者事業への支援

平成18年4月から施行された障害者自立支援法(現 障害者総合支援法)によって、障害者の自立が益々重要になり、一般社会が障害者への理解と交流を深めるため文化、スポーツ、講演会、シンポジウム、研修・旅行、など障害者団体が主催する事業に中日新聞紙面での支援や助成金などを贈った。

(2) 特別支援教育展きらめき展

障害児教育への一般の理解と認識を深めてもらうことを目的として2月18日から23日まで名古屋市熱田区の名古屋市博物館で開催した。今回は「ふみだそう 明日への一步」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室など約300校で学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品約3,000点を展示した。今回で51回目。

共催：名古屋市教育委員会、同特別支援教育研究協議会



展示作品に見入る来場者

◇母子福祉・児童福祉事業

(1) 児童養護施設招待『中日子ども村』

愛知県内の児童養護施設の小学校4年生から6年生の児童79人（スタッフを含め117人）を8月1日から2日までの1泊2日で岐阜県郡上市白鳥町石徹白(いとしろ)へ招待した。



威徳寺での開村式

民宿に宿泊し、ハイキング、魚のつかみ捕り、キャンプファイヤー、体験コーナーなどを楽しみ、奥美濃の自然とふれあった。また、指導員として参加した各施設の職員にとっても貴重な体験と情報交換の場となった。今回で18回目。

(2) 児童福祉事業支援

・児童園遊会

名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童と保護者約500組を5月5日の子どもの日に東山動植物園に招待した。今回で63回目。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

・福祉施設「海の家」

名古屋市内の児童福祉施設、知的障がい者援護施設の入所児童を7月22日から30日に篠島海水浴場(南知多町)に招待する名古屋市、名古屋市児童養護連絡協議会主催事業を後援した。今回で56回目。

・白山スキー村

愛知県内の児童福祉施設の児童32人（スタッフを含め53人）を平成26年1月17日から19日に白山ろく少年自然の家（石川県白山市）でスキー体験と交流を行う愛知県児童福祉施設長会、名古屋市児童養護連絡協議会主催事業を後援した。今回で11回目。

(3) 交通遺児のために

本事業団に「交通遺児のため役立てて」と個人や企業から寄せられる寄付金をもとに、交通事故で親を亡くした子供たちを励ますため、

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌーキャンプ(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児を励ます集い

などに助成金や記念品を贈った。

同会が把握している遺児は東海三県で約500人。



これまでの体験をつづった作文を披露する交通遺児ら

(4) 生活保護家庭の小中学生に『お年玉』を贈る

12月下旬、愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて7,131人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1人1,500円、中学生1人2,000円)を贈呈した。昭和54年から今年で35回目。

平成25年度 年末助け合い運動生活保護家庭の小・中学生への義援金贈呈

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	合計数(人)	合計金額(円)
愛知県	1,370	2,055,000	803	1,606,000	2,173	3,661,000
岐阜県	344	516,000	191	382,000	535	898,000
三重県	808	1,212,000	483	966,000	1,291	2,178,000
名古屋市	1,985	2,977,500	1,147	2,294,000	3,132	5,271,500
合計	4,507	6,760,500	2,624	5,248,000	7,131	12,008,500

◇老人福祉事業

(1) 名古屋市老人福祉施設作品展

名古屋市内の約140の老人福祉施設を利用しているお年寄りたちが趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,000点を、10月23日から27日まで名古屋市東区の名古屋市民ギャラリー矢田で展示した。手づくり体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行い会期中に延べ約6,000人が観覧した。今回で10回目。共催：名古屋市老人福祉施設協議会など



お年寄りの力作3,000点

(2) 『長寿社会フォーラム』の開催

超高齢社会へ急速に移行している中、健康で多様な生き方を選択し、かつ個性を発揮できるかを探ることを目的に平成26年3月7日、名古屋市東区の東海テレビ・テレビアホールで「一人で家で死ねますか」と題して小笠原医院院長・日本在宅ホスピス協会会長の小笠原文雄さんが講演。昭和保育園園児で結成されたグループ「たちばな」の演舞が行われた。来場者約400人。今回で24回目。

共催：日本福祉大学、愛知医科大学、東海テレビ福祉文化事業団

◇福祉団体への助成

(1) 特別支援教育振興のため研究助成金贈呈



特別支援教育振興5団体への贈呈

心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい(LD)児らの教育研究、実践、啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に6月17日、名古屋本社で研究助成金として1団体20万円を贈呈した。今回で57回目。

(2) 難病者団体に激励金を贈呈

成田山名古屋別院大聖寺（犬山市）と同信徒団体「索の会」から寄託された激励金（2,649,002円）を愛知8団体（7月2日）、岐阜5団体（6月13日）、三重5団体（6月21日）の計18難病者団体に贈った。今回で42回目。



愛知県8団体への贈呈

◇資金造成事業

(1) 年末助け合い運動

生活保護家庭の小・中学生へのお年玉贈呈と障害者の小規模作業所など福祉施設を支援するための資金造成として、11月25日から12月27日まで「年末助け合い運動」を実施。寄せられた温かい善意は最終的に231件、20,091,077円に達した。

(2) 年末チャリティー『第30回記念郷土の美術家100人展』

松坂屋名古屋店南館（名古屋・栄）のマツザカヤホールで12月10、11日の2日間開催した。東海3県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。30回を記念して相国寺管長、清水寺貫主やタレントの特別出品も実施した。多くの美術愛好家が購入し、7割近くの売約で益金は約210万円となった。収益金についてはこの地域の社会福祉のために役立てている。



作品を展示するタレントの矢野きよ実さん

県名	団体名
愛知県	NPO法人愛知県難病団体連合会
	愛知県低肺機能グループ
	口唇口蓋裂を考える会 (たんぽぽ会)
	全国パーキンソン病友の会 愛知県支部
	東海脊髄小脳変性症 (SCD)友の会
	ハンチントン病の会
	日本リウマチ友の会 愛知県支部
	愛知線維筋痛症患者・家族会 (エスベランサ)
岐阜県	IBD(潰瘍性大腸炎・クローン病患者会) 岐阜ちよう会
	岐阜県稀少難病友の会 (くぬぎの会)
	岐阜県筋ジストロフィー協会
	岐阜へモフィリア友の会(岐友会)
	日本網膜色素変性症協会 (JRPS)岐阜県支部
三重県	NPO法人三重難病連
	SCD三重の会 (脊髄小脳変性症)
	日本てんかん協会三重県支部 (波の会)
	みえIBD (潰瘍性大腸炎・クローン病患者会)
	みえPBCの会 (原発性胆汁性肝硬変)

◇援護事業

☆東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対し、翌日の12日から義援金の受け付けを行い、読者などから本部に寄せられた義援金は平成26年3月31日現在で91,061件、8,927,222,924円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて平成26年3月31日までに8,892,822,096円を宮城（10回：4,693,625,000円）、岩手（10回：2,277,875,000円）、福島（9回：1,689,322,096円）、千葉（1回：1億円）、茨城（1回：1億円）各県へ贈った。

☆伊豆大島豪雨災害義援金

10月16日未明に発生した台風26号による伊豆大島を中心に襲った集中豪雨被害に対し、読者などから本部に寄せられた義援金は123件、4,256,720円となった。他支部に寄せられ義援金と合わせて総額7,202,259円を大島町へ贈った。

☆フィリピン台風災害義援金

11月8日発生した台風30号によってフィリピンを襲った台風災害に対し、読者などから本部に寄せられた義援金は348件、17,652,923円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて総額23,998,427円を、日本赤十字社愛知県支部を通じてフィリピンへ贈った。

◇その他

（1）福祉の星フォーラム

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し、9月26日にナディアパークデザインホールで講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催。タレント・書家として活躍する矢野きよ実さんが「絆～永遠に家族・永遠に友・出逢えた人々と共に生きる～」と題して講演、日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員の渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。今回で5回目。共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団

事業一覧

(本部)

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
4/1～3/31	「あおば友の会」助成	共催	中日青葉学園	中日青葉学園(日進市)
4/14	愛知県聴覚障害者体育大会	後援	愛知県聴覚障害者協会	あま市甚日寺総合体育館ほか
4/21	チャリティーマラソンin庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/21	ジョギング・フェスティバル	後援	スペシャルオリンピックス日本	瑞穂公園田辺陸上競技場
4/21～3/16	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館 ほか
4/27	共に生きる社会って！どんなまち？	後援	地域福祉セミナー実行委員会	名古屋柳城短期大学体育館
4/27	シンポジウム 地域で共に学ぶ教育とは	後援	愛知県重度障害者団体連絡協議会	山田地区会館体育館
4/27～5/26	愛知県障害者スポーツ大会	後援	愛知県社会福祉協議会	星ヶ丘ボウルほか
4/28	車椅子ツインバスケットボール大会刈谷大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
5月～2月	赤十字幼児安全法支援員養成講習	後援	日本赤十字社愛知県支部	日本赤十字社愛知県支部ほか
5月～3月	赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会	後援	日本赤十字社愛知県支部	日本赤十字社愛知県支部ほか
5/6	チャリティー芸能まつり	後援	チャリティー芸能まつり実行委員会	愛知県芸術劇場大ホール
5/5	日本リウマチ友の会愛知支部大会	後援	日本リウマチ友の会愛知支部	名古屋マリオットアソシアホテル
5/5	児童園遊会	共催	名古屋市	東山動植物園
5/9～11/24	名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会	瑞穂公園陸上競技場ほか
5/10	地域レクリエーション教室	後援	三重県知的障害者育成会	千葉県ほか
5/15～6/19	ボランティアスクール	共催	あさみどりの会	べにしだの家
5/17	ケニヤ・マゴゾスクール支援 祈りと風のコンサート	後援	名古屋キリスト教会館	日本特殊陶業市民会館
5/18	名古屋市聴覚障害者親睦ソフトボール大会	後援	名古屋市聴覚障害者協議会	名古屋市志段味スポーツランド
5/24～26	国際福祉健康産業展～ウェルフェア～	後援	名古屋国際見本市委員会	ポートメッセなごや
5/26	わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会	サマリアハウス
5/26	名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	恵那山南木曾山麓「木曾路館」
6/2	藤栄会チャリティー民謡発表会	後援	藤栄会	愛知県芸術劇場
6/8～9	日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会	後援	日本車椅子ツインバスケットボール連盟	パークアリーナ小牧
6/9、2/9	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県教育会館
6/13、21、 7/2	成田山難病者激励金贈呈式	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社ほか
6/15	重度在宅児・者研修旅行	後援	名古屋手をつなぐ育成会	志摩スペイン村
6/16	全国膠原病友の会愛知県支部総会と医療講演会	後援	全国膠原病友の会愛知支部	名古屋市総合社会福祉会館
6/17	東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
6/22	東海聴覚障害者体育大会	後援	東海聴覚障害者連盟	豊橋市総合体育館ほか
6/22~23	日本電動車椅子サッカー選手権 中部北陸ブロック合同予選大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	名古屋市東スポーツセンター
6/23	サウンドテーブルテニスはなのき杯卓球大会	後援	愛知SSTクラブ連盟	友愛の家(岡崎市)
6/29~30	全国児童養護問題研究会全国大会	後援	全国児童養護問題研究会	日本福祉大学美浜キャンパス
6/29~3月	楽しいソーイング教室	主催	中日新聞社会事業団	中日青葉学園
7月~12月	ふれあいフォトコンクール	後援	愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
7月~3月	チャレンジ! 家庭で役立つ介護技術	後援	日本赤十字社愛知県支部	日本赤十字社愛知県支部ほか
7/5	チャリティブックinテレビ塔	後援	障がい者就労支援事業所あるく	テレビ塔1階
7/6~7	全国ジュニア選抜 車椅子バスケットボール大会in愛知	後援	東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール連盟	名古屋市中村スポーツセンター
7/7	愛知県聴覚障害者大会	後援	愛知県聴覚障害者協会	蒲郡市民会館
7/7	愛知県肝友会 定時総会記念講演会	後援	愛知県肝友会	名古屋市総合社会福祉会館
7/7~3/4	面接教育相談事業	後援	愛知県教育・スポーツ振興事業団	愛知県教育会館ほか
7/11~12	南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	美ヶ原ホテル翔峰
7/13	東海聴覚ろう重複児・者家族セミナー	後援	つくし	岡崎市福祉会館
7/13	子どもセンター「パオ」7周年イベント	後援	子どもセンター「パオ」	名古屋市港文化小劇場
7/19~21	陶工房鳴海作品展チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海	東桜会館
7/20	まいまい狂言会	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/20~9/20	高校生ボランティア活動並びに体験文募集	後援	中部善意銀行	愛知県下の社会福祉施設
7/22~30	福祉施設「海の家」	後援	名古屋市児童養護連絡協議会	篠島海水浴場(南知多町)
7/25~28	一宮七夕まつり児童虐待啓発活動募金	後援	こどもハートクラブ	一宮本町アーケード内
7/27	中部地域知的障がい者ボウリング大会	後援	三重県知的障がい者ボウリング協会	津グランドボウル
7/27~28	愛知県車いすテニス大会 in NAGOYA	後援	愛知県車いすテニス協会	名古屋市東山公園 テニスセンター
7/28	アートセラピーを学ぼう 講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会	中京大学名古屋キャンパス
8/1~2	中日子ども村	主催	中日新聞社会事業団	岐阜県郡上市白鳥町石徹白
8/1~2	東海北陸地区特別支援教育研究大会愛知大会	後援	全日本特殊教育研究連盟	豊田市文化会館ほか
8/1~3	サマーカヌーキャンプ	後援	東海交通遺児を励ます会	滋賀県休暇村近江八幡
8/5	東海地区特別支援学校知的障害者教育サッカー大会 岐阜大会	後援	岐阜県特別支援学校知的障害教育校長会	岐阜県立加茂特別支援学校
8/8	名古屋市立小中学校特別支援学級・学校連合運動会	後援	名古屋市特別支援教育研究協議会	日本ガイシホール
8/10~12	親子なかよしキャンプ	後援	愛知県自閉症協会	乙女溪谷キャンプ場 (岐阜県中津川市)
8/16~20	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
8/17~23	中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/18	昭和三の福祉まつり	後援	昭和三福祉まつり実行委員会	昭和三区役所講堂
8/18~23	愛知県心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	ホテルボンセジュール
8/19	愛知県児童福祉施設入所児童ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とばねグラウンド
8/21	愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	みよし総合体育館
8/24~25	療育キャンプ	後援	愛知県知的障害者育成会	三重県熊野古道センター
8/24~25	ファミリーホーム全国研究大会	後援	日本ファミリーホーム協議会	蒲郡三谷温泉ホテル明山荘
8/25	優利民謡会チャリティー民謡発表会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館
8/25~11/26	青少年の自立支援事業「トライアルキャンプ」	後援	愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県美浜少年自然の家
9/1	愛盲連文芸大会	後援	愛知県盲人福祉連合会	明生会館(豊橋市)
9/1	東海北陸ブロック車椅子バスケットボール定期大会 前期岡崎大会	後援	東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館武道館
9/4~10/30	愛知県老人福祉施設職員野球大会	後援	愛知県老人福祉施設協議会	小牧市民球場
9/8	自然に親しむ集い	後援	名古屋市視覚障害者協会	高島城・諏訪湖
9/10~12/10	手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の福祉団体ほか
9/15	名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級連絡協議会	名古屋市中村スポーツセンター
9/22	こども文化・スポーツフェスタ	後援	こども文化・スポーツフェスタ実行委員会	小幡緑地本園
9/23	東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市 障害者スポーツセンター
9/23~29	作品展“てをつなぐ”	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ニコニコ
9/26	福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会	ナディアパークデザインホール
9/28~29	肢体障害者全国交流集会IN愛知	後援	肢体障害者全国交流集会IN愛知実行委員会	ウイंकあいち
9/29	中部ブロック電動車椅子サッカー定期大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	静岡市中央体育館
9/29	アンサンブル・アミー結成45周年記念コンサート	後援	アンサンブル・アミー	日本特殊陶業市民会館
9/29	愛のフェスティバル	後援	名古屋市手をつなぐ育成会	名古屋市手をつなぐ育成会 福祉会館
10/1~10	赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会	愛知県内2ヵ所
10/1~6	ふれあいアート展	後援	愛知県知的障害者生活サポート協会	電気文化会館
10/5	生き生き長寿フェア「はつらつ健康プラザ」	後援	愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)
10/6	長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川マラソン大会実行委員会	木曾三川公園特設会場 (岐阜県海津市)
10/12	児童福祉施設運動会	後援	名古屋市児童養護連絡協議会	瑞穂公園レクリエーション広場
10/20	愛知県難病団体連合会定期大会	後援	愛知県難病団体連合会	東別院ホール
10/23~27	名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会	名古屋市民ギャラリー矢田

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
10/24	愛知県社会福祉大会	協賛	愛知県社会福祉協議会	愛知県体育館
10/27	車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会	岩倉市野寄テニスコート
11/2	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会	鯉城ホール
11/2	多治見修道院ワインフェスタ	共催	AJU自立の家ピア名古屋	神言会多治見修道院
11/2～3	東海車いすテニス大会in桑名	後援	三重県車いすテニス協会	桑名市総合運動公園 テニスコート
11/9	愛知県子ども会大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会	名古屋市公会堂
11/10	名古屋市身体障害者福祉大会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市熱田文化小劇場
11/10	愛知県母子寡婦福祉大会	後援	愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいち
11/10	東海車椅子ツインバスケットボール定期大会鈴鹿大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	鈴鹿市立体育館
11/13	愛知県視覚障害者福祉大会岡崎大会	後援	愛知県盲人福祉連合会	岡崎市せきれいホール
11/14	東海地区盲学校柔道大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	三重県立盲学校
11/16	住友生命全国縦断チャリティーコンサート	後援	住友生命保険相互会社 愛知東支社	幸田町民会館さくらホール
11/17	あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育会館
11/17	名古屋ユニバーサル運動会	後援	名古屋ユニバーサル運動会実行委員会	県立名古屋盲学校グラウンド
11/18	岐阜県母子寡婦福祉大会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	長良川国際会議場
11/23	社員みんながやさしくなった ～障がい者雇用の明日を拓く～	後援	シンセサイズ中部	鯉城ホール
11/23	児童虐待防止市民フォーラム	後援	こどもハートクラブ	びしんコミュニティホール (一宮市)
11/24	全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター
11/24	三重県母子寡婦福祉大会	後援	三重県母子寡婦福祉連合会	クラギ文化ホール
11/24	音楽の集い 豊田大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	豊田市民文化会館大ホール
11/24	なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
11/25～12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団
11/30	ボランティアフェスティバル	後援	あさみどりの会	べにしだの家
11/30	愛知県老人福祉施設職員ボウリング大会	後援	愛知老人福祉施設協議会	知立イーグルボウル
11/30	ぴかっtoアート展開催事業	後援	ぴかっtoアート展実行委員会	イオン草津イオンホール
12/6～8	尾西作家協会展とチャリティー展	協力	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/7	愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児(者) 福祉団体連絡協議会	愛知県社会福祉会館
12/8	東海北陸ブロック車椅子バスケットボール定期大会 後期岐阜大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	かんぱの宿岐阜羽島
12/8	愛知県身体障害者福祉大会	後援	愛知県身体障害者福祉団体連合会	小牧市市民会館
12/10～11	郷土の美術家100人展	主催	中日新聞社会事業団	松坂屋本店南館 マツザカヤホール

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
12/11	中部善意銀行～年末助け合い～	後援	中部善意銀行	名鉄百貨店本店本館
12/14	地球組コンサート「幸せのカタチ」	後援	少年少女合唱団地球組	アートピアホール
12/23	名古屋少年少女合唱団が贈るクリスマスコンサート	後援	名古屋少年少女合唱団	三井住友海上しらかわホール
12/23	交通遺児を励ます大会	後援	東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/23	中日青葉学園招待スケート教室	共催	名古屋スポーツセンター	名古屋スポーツセンター
12/25	東海地区特別支援学校知的障害者教育サッカー大会	後援	東海地区特別支援学校 知的障害者教育校長会	三重県営鈴鹿スポーツガーデン
12/25	愛知県児童福祉施設入所児童フットサル大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	テバオーシャンズアリーナ
12/25	東海聴覚障害者体育大会	後援	東海聴覚障害者連盟	豊橋市総合体育館ほか
12/29	劇団飛行船によるファミリーミュージカル プレーメンの音楽隊	後援	日本特殊陶業	日本特殊陶業市民会館
1/1～3/31	少年院成人式・卒業式での記念品贈呈	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院(豊田市)ほか
1/11	「日本・中国」聾者友好交流会	後援	「日本・中国」聾者友好交流会実行委員会	名古屋市総合社会福祉会館
1/17～19	白山スキー村	後援	愛知県児童福祉施設長会	白山ろく少年自然の家
1/23～28	世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	丸栄8階催事場
1/25、2/1	長寿社会公開講座	後援	日本福祉大学	日本福祉大学名古屋キャンパス
1/26～3/2	名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館
2/2	愛知県児童福祉施設等親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合公園競技場ほか
2/2	名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会	後援	名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市 昭和スポーツセンター
2/9	NHKハートフォーラム	後援	NHK厚生文化事業団中部支局	ウインクあいち
2/12	「あ・い・ち・ふ・く・し」シンポジウム	後援	愛知県社会福祉協議会	中日パレス
2/16	全国交流集会	後援	全国小児病棟 遊びのボランティアネットワーク	あいち小児保健医療 総合センター
2/18～23	特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会	名古屋市博物館
2/23	高次脳機能障害研修会	後援	脳外傷友の会みずほ	刈谷産業振興センター
2/25～3/20	障害者作品即売会「福祉の店」	後援	愛知県セルフセンター	イオンモール ナゴヤドーム前店ほか
2/27	住友生命全国縦断チャリティーコンサート	後援	住友生命保険相互会社 名古屋支社	愛知県芸術劇場 コンサートホール
3/1	ドラゴンズOBチャリティー野球教室	後援	ヤングリーグ東海東西支部	瑞穂球場
3/7	長寿社会フォーラム	共催	日本福祉大学	テレビアホール
3/9	耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	愛知県聴覚障害者協会	春日井市民会館
3/9	全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP	後援	愛知県フロアバレーボール協会	愛知県体育館
3/15～16	日本車椅子バスケットボール選手権大会 東海北陸地区予選	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	名古屋市中村スポーツセンター
3/16	元気の歌魂～忘れない～	後援	少年少女合唱団地球組	中日ビル1階ロビー

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
3/20	中日福祉ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社6階ホール
3/21	日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名古屋市 名東スポーツセンターほか
3/21	青葉学園卒業祝い	主催	中日新聞社会事業団	中日青葉学園(日進市)
3/23	中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社と緊密な連携をとりながら北陸三県下の関係機関、団体などの協力を得て平成25年度の事業を推進した。

◇大井中日就学(職)支援

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として今年度も実施した。

県内にある児童養護施設(8施設)で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今年度は今春高校に進学、就職する子どもたち計32人に新生活の準備に役立ててもらった。

※「大井中日奨学福祉財団」(事務局：七尾市社会福祉協議会)は1985年(昭和60年)に七尾市和倉温泉で旅館経営をしていた大井安次夫妻(当初は社会事業団への寄託)、88年には息子の大井昭平夫妻から地域の児童福祉にと寄託された寄付金を基に、長年七尾市の中高生の就学を支援してきたが、昨今の景気低迷で事業運営が困難になり解散(2012年の理事会で解散決議。2013年残余財産処分許可、中日新聞社会事業団北陸支部に引き渡し)。

◇表彰事業

(1) 平成25年度 中日ボランティア賞

北陸三県(石川、富山、福井)で地道な社会活動や、子ども達の隠れた善行、他の模範になるボランティア活動を続けている個人、グループや団体を顕彰した。

従来の「中日ボランティア顕彰」(成人対象)と「中日あおば賞」(青少年対象)を統合し、今回で6回目。

北陸三県下の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから50件の推薦があり、社内外の選考会で31件(石川13件、福井8件、富山10件)が選ばれた。

12月7日、ANAクラウンプラザホテル金沢で表彰式を行い、受賞者に賞額、記念品を贈った。



北陸三県受賞者の方々

◇障害児・者福祉事業

(1) 第11回 中日ふれあい作品展

石川・富山県内の障害者（児）が取り組んだ絵画や書道作品を紹介する『中日ふれあい作品展』を、金沢ライオンズクラブ共催、北陸銀行・北陸研開発協賛で11月9日から11日の3日間、「めいてつエムザ」で開催。

福祉施設の入（通）所者や児童らが取り組んだ書道146点、絵画186点の応募作品をすべて展示した。市民の目に触れることの少ない障害者らの作品を多くの人に見てもらい、障害者福祉への理解を深めてもらおうと開催。今年で11回目。

絵画部門では金沢アート工房（知的障害者自立支援工房）国枝千晶代表や二紀会員の小原瑛子先生ほか関係者が審査した結果、今年度は特別賞として金沢ライオンズクラブ賞、北陸銀行賞、北陸研開発賞、北陸中日新聞賞、同社会事業団賞が各1点、佳作4点、入選6点、奨励賞3点が選ばれた。

書道部門には書道家の西田裕美先生ほか関係者に審査を依頼。絵画部門と同じく特別賞各1点、佳作4点、入選2点、奨励賞2点が決まり、計31点の作品が選ばれ、11月22日、金沢ニューグランドホテルで表彰式が行われた。



「中日ふれあい作品展」会場の様子

◇母子福祉・児童福祉事業

(1) 『第34回金沢手をつなぐ親の会水泳大会』を支援

障害を持つ子供たちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催する、日常の体育訓練を通して、知的障害児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、表彰メダルや参加賞を贈り長年支援を続けている。11月24日開催。

(2) 台湾オペラ小松公演のチケット贈呈

8月25日に小松市内で行われた台湾オペラのチケットを購入し、市内の福祉施設(20施設)で働く職員への日頃の慰労も含めて配布した。

◇老人福祉事業

☆チャリティーコンサート、各種イベントなどの後援・協力をし、購入または寄贈して頂いたチケットを高齢者の方々へ届け招待。

◇資金造成事業

(1) 年末助け合い運動

年末助け合い運動を11月25日から12月27日まで中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。支部では25件・合計639,172円の募金が集まり、石川県下の障害者支援施設、地域活動支援センターなど6施設へ届けた。

(2) カルチャー・チャリティー作品展

9月14日から16日まで、金沢中日ビルにて金沢中日文化センター講師・会員らによるチャリティー作品展を開催。手工芸や絵画、書道など23講座から650点の作品が出品され、売上の一部184,479円が支部へ寄託された。

(3) その他

☆中日新聞北陸本社主催のイベント会場に募金箱を設置して善意を募った。

☆金沢市内の販売店に募金箱の店頭設置や販売店主催行事などへの募金箱設置を依頼。

☆その他各イベントに募金箱の設置を依頼。

◇援護事業

☆東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、3年を過ぎても多くの読者から義援金が寄せられている。

☆たまきはる福島基金

平成24年3月1日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き継続して受け付け。

☆伊豆大島豪雨災害義援金

台風26号で大きな被害を受けた伊豆大島などの被災者を救済するための義援金を、「伊豆大島豪雨災害義援金」として10月21日から受け付けた。

☆フィリピン台風災害義援金

台風30号で大きな被害を受けたフィリピンの被災者を救済するための義援金を、「フィリピン台風災害義援金」として11月14日から受け付け、平成26年2月末に締め切った。支部では16件・合計1,178,677円。

事業一覧

(北陸支部)

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
5/7	大将すし春季ボウリング大会	後援	大将すし	鹿島郡中能登町 井田 クアトロブーム
5/11	動かぬ足に筆を挟んで画廊(心のまま展)	後援	中出修一	画廊 しゅん
5/19	愛と光のハーモニー	後援	占いカフェSOUP	占いカフェSOUP
5/19	第8回美里あかり歌謡教室発表会 チャリティ	後援	美里あかり歌謡教室	シルクビート
5/26	東日本大震災救援チャリティーバザー	後援	金沢市地区赤十字奉仕団連絡協議会	平和堂アルプラザ金沢店
5/26	東日本大震災 チャリティ ストリート ライブ vol.5	後援	永村幸治 with Sound Splash	金沢駅東広場(鼓門) 金沢市ノ新保町2
6/7	第32回百万石臯月盆栽展	後援	日本臯月協会金沢支部	金沢市民芸術村 PIT5アート工房(金沢市大和)
6/22	第9回石川県ポッチャ大会	後援	石川県ポッチャ協会	いしかわ総合スポーツセンター
6/22	愛と光のハーモニー	後援	占いカフェSOUP	占いカフェSOUP
6/23	講演会 特別支援教育の現状と課題	後援	石川県ことばを育む親の会	石川県教育センター大研修室
6/23	講演会「難聴児のことばと心を育てる」	後援	石川県難聴児を持つ親の会	金沢市教育プラザ富樫1号館
6/30	第13回ほのぼのコンサート	後援	ボランティアグループ「アンダンテ」	加賀市民会館
7/26	金沢、加賀、能登 3地区東日本大震災救援チャリティーバザー	後援	金沢市地区赤十字奉仕団連絡協議会	日本赤十字石川県支部
8/2	石川サニーマイト“セルフはくさん”夕涼み会	後援	(福)石川サニーマイト“セルフはくさん”	野々市町末松 セルフはくさん 敷地内
8/16	玄侑宗久「禅語の前後」展	後援	元湯石屋	元湯石屋(金沢市深谷町)
8/16	玄侑宗久「禅語の前後」展	後援	高木靴商店	高木靴商店(金沢市東山)
8/25	10周年ディナーパーティー	後援	カラオケ喫茶&スナック富	ホテル金沢
8/25	台湾オペラ小松公演	協賛	こまつ劇場うらら・小松市	こまつ芸術劇場うらら 大ホール
8/31	第12回夕やけコンサート	後援	鈴見台5丁目を美しくする会	鈴見台虹の家(金沢市鈴見台)
9/3	麺類店屋さんとの手話交流会	後援	石川県麺類食堂生活衛生同業組合	北陸電力石川支店 エルフ金沢
9/14~16	カルチャー・チャリティー作品展	共催	金沢中日文化センター	金沢中日文化センター
9/16	老人ホームへの慰問ボランティア	後援	石川県日本調理技能士会	老人ホーム 白寿園金沢西
9/26	小さな小さな小さな画廊 しゅん 「仲間」	後援	中出繁男 中出修一	画廊 しゅん
10/27	講演会・研修会「発達障害児の困りごと」	後援	石川県ことばを育む親の会	金沢市教育プラザ富樫1号館
11/9~11	第11回中日ふれあい作品展	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	めいてつエムザ(金沢市)
11/10	講演会「難聴児のことばと心を育てる」	後援	石川県難聴児を持つ親の会	金沢市教育プラザ富樫1号館
11/16	千代野福祉フェスティバル2013	後援	千代野地区社会福祉協議会	白山市立千代野公民館
11/16	能美市民歌謡の集い	後援	てらい愛唱会	能美市寺井地区公民館 大ホール
11/17	ウェルフェアハートフルコンサート	協賛	NPO法人安靖水見共同作業所	氷見市いきいき元気館

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
11/22	動かぬ右足で筆を持つ書画展(中出修一展)	後援	社会福祉法人むつみ会	若草福祉作業所内喫茶オズ
11/22	第11回中日ふれあい作品展 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	金沢ニューグランドホテル
11/24	第34回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/24	平成25年度 能登地区教育相談会	後援	石川県ことばを育む親の会	のとふれあい文化センター
11/25~12/27	2013年年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県下
12/5	額校下全世帯から集めたタオル1本運動約2000本	後援	日本赤十字額奉仕団	特別養護老人ホーム五番丁
12/7	平成25年度 中日ボランティア賞 表彰式	主催	中日新聞社会事業団	ANAクラウンプラザホテル金沢(金沢市)
12/16	動かぬ足に筆をはさんで画廊しゅん新たなる3周年	後援	中出繁男 中出修一	画廊 しゅん
2/3	2013年年末助け合い運動 義援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県下障害福祉施設
2/23	いじめ問題シンポジウム	後援	いしかわ県民教育文化センター	教育プラザ富樫
3/14~15	チャリティ呉服市	後援	大橋呉服店	大橋呉服店
3/18	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県下児童養護施設
3/23	東日本大震災応援チャリティふじの会ミニコンサート	後援	羽昨公民館カラオケ教室ふじの会	羽昨市羽昨公民館
毎月	あすなる親の会(ひきこもりを考える)例会	共催	あすなる親の会	石川県下

東海支部

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、平成25年度の事業を実施した。

◇心身障害児・者福祉事業

(1) 第27回静岡オレンジマラソン大会

福祉を育てる民間運動行事の一環として、静岡県知的障害者福祉協会などが主催する大会。10月19日、静岡県草薙総合運動場陸上競技場で開催された。大会を後援し、メダルを贈った。

(2) 第46回手をつなぐ育成会東海北陸大会・静岡大会

知的障害児・者の福祉向上のため、その家族・施設関係者などが集い、交流を深めながら意見交換を行なう勉強会。10月26日、27日に静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」で開催された。大会を後援し大会運営に協力した。

◇母子福祉・児童福祉事業

(1) 第42回静岡県児童福祉施設夏季球技大会

静岡県児童福祉施設12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会で、8月22日に湖西市みなと運動公園で開催された。大会を後援、盾と参加賞を贈り大会運営に協力した。

(2) 「恐竜が見あげた竜 翼竜の謎」に児童養護施設入居者招待

7月20日～9月1日に浜松科学館で開催された「恐竜が見あげた竜 翼竜の謎」(中日新聞東海本社など主催)の招待券125枚を、浜松市内の児童養護施設4施設に贈り、入居者に同展を楽しんでもらった。

(3) 生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈

12月中旬、静岡県西部地区在住で生活保護を受けている家庭の中学生226人(浜松市191人、湖西市3人、磐田市18人、袋井市9人、掛川市4人、御前崎市1人)に、激励として図書カード1人5,000円分を贈った。



生活保護家庭の小・中学生から寄せられた礼状

(4) 生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

平成26年2月中旬、静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童51人(浜松市41人、磐田市5人、袋井市3人、御前崎市2人)に図書カード1人3,000円分を贈った。

(5) 浜松市内在住の交通遺児中学卒業生に辞書贈呈

平成26年3月6日、浜松市在住の交通遺児で、25年度中学校を卒業する生徒(1人)に、辞書(広辞苑)を贈った。

(6) 交通遺児義援金の贈呈

平成26年3月28日、浜松市および近郊在住の人々からの交通遺児義援金341,888円を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ届けた。

◇老人福祉事業

(1) 寿会ゴルフ大会

高齢のゴルフ愛好者で構成される寿会が、毎月1回豊岡国際カントリークラブで開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。

◇表彰事業

(1) 第30回中日ボランティア賞

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を発掘するとともに、その活動を支援するため優秀な受賞団体に奨励金を贈る主催事業。静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より39件の推薦があった。30回記念にあたり、例年より3団体多い受賞10団体(静岡県西部5団体、中部3団体、東部2団体)を選考委員会で決定。10月16日、ホテルコンコルド浜松で贈呈式を行い、賞状・奨励金(1団体15万円)を贈った。



第30回中日ボランティア賞を受賞した各団体の代表者ら
＝浜松市で

◇資金造成事業

(1) 年末助け合い運動

11月25日から12月27日まで中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は68件、総額で2,270,791円となった。

(2) 歳末助け合い 第32回ふるさと知名人チャリティー色紙展

静岡県にゆかりのある知名人(画家・書道家・版画家など)から、チャリティーで作品を提供していただき、展示中に来場者が1枚3,000円で購入、その売上金を寄付する主催事業。中日新聞東海本社と連携をとり、本年度は12月3日から5日までの3日間、浜松市の遠鉄百貨店8階特設催会場で開催。経費を除いた売上金(28万円)の半額を年末助け合い運動資金に、残りの半額を12月20日、静岡県社会福祉協議会に贈った。



市民らでにぎわう第32回ふるさと知名人チャリティー色紙展＝浜松市で

(3) 社会事業資金造成 第30回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

平成26年3月19日に豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー寄付金とし、9万円の社会事業資金が集まった。

◇その他事業

(1) 第18、19回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会

地元企業が主催するチャリティーゴルフ大会が7月3日と12月4日、いなさゴルフ倶楽部浜松コースで開催された。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募って社会福祉活動に貢献しており、本大会を後援した。

(2) 静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティ

ア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会では毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として5万円を贈った。

(3) 第36回静岡県ボランティア研究集会

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じて学習・ネットワークづくりを強化することを目的とした集会。平成26年2月9日に焼津市文化会館大ホールなどで開催された上記大会を後援し、運営援助金5万円を贈った。

◇援護事業

☆災害義援金

東日本大震災への読者からの義援金は平成23年3月11日の地震発生以来3年を過ぎた現在も続き、発生から25年度末までに東海支部に寄せられた義援金は4億8000万円を超えた。阪神・淡路大震災の東海支部への義援金は2億6000万円余で今回は2倍近くになっている。

このほか、10月16日に発生した伊豆大島豪雨災害には715,620円、11月8日に発生したフィリピン台風災害には1,683,026円の義援金が寄せられ、本部を通じて被災地へ届けられた。

事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
4月～ 26年3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ
5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	特定非営利法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
7/3	第18回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネス大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース
7/12	「恐竜が見あげた竜 翼竜の謎」へ児童養護施設 入居者招待(招待券贈呈)	主催	中日新聞社会事業団東海支部	翼竜展 = 浜松科学館
8/22	第42回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	後援	静岡県児童養護施設協議会 静岡県社会福祉法人経営者協議会	湖西市みなと運動公園
10/16	第30回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松
10/19	第27回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人県作業所連合会	静岡県草薙総合運動場 陸上競技場
10/26～27	第46回手をつなぐ育成会東海北陸大会・静岡大会	後援	東海北陸手をつなぐ育成会協議会	静岡県コンベンション アーツセンター「グランシップ」
11/25～12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか
12/3～5	第32回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店 8階特設催会場
12/4	第19回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネス大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース
12/中旬	静岡県西部地区 生活保護家庭中学生に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
2/9	第36回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利法人 静岡県ボランティア協会	焼津市文化会館大ホールほか
2/中旬	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
3/6	浜松市在住交通遺児中学卒業生に辞書贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県浜松市
3/19	社会事業資金造成 第30回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ
3/28	交通遺児義援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市役所

東京支部

本部および中日新聞東京本社（東京新聞）と緊密な連携をとりながら、東京新聞の発行エリアである東京都を中心に、東京新聞社会事業団名義で社会福祉事業を行った。

◇障がい者福祉事業

（１）第17回全日本ID（知的障害者）バレーボール選手権大会

8月10日と11日に千葉県の浦安市運動公園総合体育館で開催した。東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。副賞（参加チームから各1名に優秀選手賞）を贈呈した。

（２）第50回記念全国聾学校陸上競技大会

全国を持ち回りで開催している同大会が、今年度は世田谷区の駒沢オリンピック記念総合運動場で11月7日から9日に開催されたことから、後援し助成金5万円を贈った。

◇福祉事業

（１）ホームレスへの食事配給を行っている団体に助成金

台東区にある恩賜上野公園のホームレスに毎日弁当を配っている荒川区のボランティア団体「赤銀杏会」（石崎克雄代表）の活動を支援するため、今年度も60万円を助成した。

（２）レイプクライシスセンターTSUBOMIに助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者の電話・メール・面接・法律各相談と、裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンターTSUBOMI」（望月晶子代表）に48万円を助成した。

◇東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

（１）避難者支援事業

東京都・埼玉県への避難者が都民らと立ち上げた交流サロンのうち、別表の団体に活動費用の一部、合計70万円を助成した。また文京区社会福祉協議会が主催する「おちゃっぺ会」は昨年度から都の助成を受けることになった為、これまでの助成活

動を記念して同会の缶バッジを作った。製造は文京区内の小規模福祉作業所で行い、製造費用58,000円を助成した。

活動地区	団体名 活動名称	代表者名	主な活動地区
東京都新宿区	さんさん広場	新宿区社会福祉協議会	新宿区・百人町アパート 集会室
埼玉県新座市	震災支援ネットワーク 新座	谷森 櫻子	新座市・国家公務員住宅 集会室
埼玉県越谷市	一歩会	新妻 敏夫	越谷市内各所
埼玉県所沢市	青空あおぞら	岡田 恭子 震災支援ネットワーク埼玉	所沢市公民館
埼玉県杉戸町	杉戸元気会	佐藤 純俊	国家公務員杉戸住宅内

当初は避難者のみで行われていた活動は、地域住民や複数の大学生ボランティア、さいたま市に本部を置くコープみらいなどが加わり、活発に行われている。



「おちゃっぺ会に参加している避難者や文京区民ボランティアなど」=文京区の光源寺で撮影

◇指定寄付

寄託者から寄せられた特定の団体への寄付を指定寄付として受け付けた。主な寄付先は次の通り。

- 1)あしなが育英会東北レインボーハウス建設募金
- 2)緊急災害時動物救援本部
- 3)希望の牧場ふくしま
- 4)たまきはる福島基金
- 5)日本赤十字社

◇資金造成事業

(1) 年末助け合い運動

11月25日から12月27日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に20件・503,944円の善意が寄せられ、あしなが育英会15万円、交通遺児育英会10万円、(社福)日本点字図書館125,000円、東京都社会福祉協議会東京善意銀行125,000円をそれぞれ送金。残額の3,944円は社会福祉事業資金に充当した。

(2) 東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた被災者への義援金募集を行い、読者などから郵便振替や東京本社へ持参、支局・東京新聞ショッパー社経由、中日新聞社友会東京支部総会での募金活動など、善意が今も途切れることなく寄せられている。東京支部へ寄せられた義援金は366件・7,950,661円。

(3) 伊豆大島豪雨災害義援金

台風26号で大きな被害を受けた東京都大島町（伊豆大島）を支援する為、10月21日から平成26年2月まで本部と共同で義援金を募集した。東京支部には184件・1,840,434円が寄せられ、大島町へ贈呈した。

(4) フィリピン台風災害義援金

台風30号が直撃して大きな被害を受けたフィリピン中部の被災者を救援する為、11月12日から平成26年2月まで義援金を募集した。東京支部には157件・2,076,756円が寄せられた。フィリピンは国として被災者に義援金を渡す制度がない為、現地で国際赤十字連盟の一員として医療や活動を行っている日本赤十字社の愛知県支部を通じて贈呈した。

(5) 一般社会福祉活動資金

東日本大震災発生後は指定寄付が増えたが、一般の活動に使う資金は慢性的に不足している為、ホームページで寄付を呼びかけた。また事業局企画事業部が行った東京新聞フォーラム「スポーツのチカラ～プロの第一線で活躍した二人がその魅力とみらいを語る～」に出演した山崎武司氏（元中日ドラゴンズ）と宮本慎也氏（元東京ヤクルトスワローズ）のサイン入りグッズのチャリティオークションを行い、売り上げと募金で寄せられた計22,000円は一般社会福祉活動で行っている避難者支援事業に充てた。

事業一覧

(東京支部)

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
4/1~3/31	「赤銀杏会」助成	協力	赤銀杏会	恩賜上野公園(東京都台東区)
4/1~3/31	東日本大震災・東京電力福島第一原発事故 避難者支援	主催	中日新聞社会事業団東京支部	東京都内・埼玉県内
4/1~3/31	「レイプクライシスセンターTSUBOMI」助成	協力	レイプクライシスセンターTSUBOMI	東京都内
7/22~24	ポリショイサーカス福祉招待	主催	ポリショイサーカス、中日新聞東京本社	東京体育館(東京都新宿区)
8/10~11	第17回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	日本IDバレーボール連盟	浦安市運動公園体育館 (千葉県浦安市)
9/18~20	「第40回国際福祉機器展H.C.R2013」	協賛	全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会	東京ビッグサイト (東京都江東区)
10/21	グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞東京本社	国立競技場(東京都新宿区)
11/7~9	第50回記念全国聾学校陸上競技大会	後援	全国聾学校体育連盟	駒沢オリンピック公園 総合運動場(東京都世田谷区)
11/30	第11回本間一男記念日本点字図書館 チャリティーコンサート	後援	社会福祉法人 日本点字図書館	東京文化会館小ホール (東京都台東区)
11/25~12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東京支部	東京新聞紙上
12/7	文京ボランティア・市民活動まつり2013	後援	文京区社会福祉協議会	文京区民センター (東京都文京区)
2/12	文京区社会福祉協議会 「おちゃっぺ会」記念缶バッジ製造	協力	(社福)復生あせび会(製造業者に直接支払)	光源寺(東京都文京区)
3/26	第16回「がんばれ先生 東京新聞教育賞」表彰式	後援	中日新聞東京本社	日本プレスセンター (東京都千代田区)

岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。

◇心身障がい児・者福祉事業

(1) 長良川ふれあいマラソン

障がい者と健常者が一緒にマラソンに参加し、障がい者に対する理解の輪を広げ、障がい者の社会参加の意欲を高めるため10月6日、岐阜県海津市の木曾三川公園特設コースで行った。長良川ふれあいマラソン実行委員会（岐阜県、海津市、岐阜県身体障害者福祉協議会ほか障がい者団体）と共催。

(2) 岐阜県知的障がい特別支援学校チャレンジ陸上競技大会

岐阜県内の知的障がい特別支援学校の児童・生徒に、広く陸上競技を通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに、相互の親睦を深め、社会性を育てることを目的に行った。7月26日。岐阜市、メモリアルセンター。

(3) 全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

障がいのある人も手軽に楽しむことが出来るグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が、交流と親睦を深めると共に、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的とする。祝賀へりによる花束の投下。11月24日。岐阜市、メモリアルセンター。

(4) サッカーや野球に招待

7月3日に岐阜市の長良川競技場で行ったサッカーの試合、8月20日の中日ドラゴンズ公式戦などに、岐阜県身体障害者福祉協会や精神保健福祉協会などを通して招待した。

(5) CPサッカー全日本選手権

脳性麻痺者のサッカー全国大会を開催した。9月28・29日。岐阜市、長良川メドウ。

◇母子・児童福祉事業

(1) 岐阜県母子寡婦福祉大会において「中日賞」を贈呈

岐阜県母子寡婦福祉大会において、母親の努力をたたえ、岐阜支部事務長が代表して中日賞を贈呈した。11月18日。岐阜市、長良川国際会議場。



中日賞を授与(岐阜県母子寡婦福祉大会)

(2) ポリショイサーカス公演に招待

名古屋市の愛知県体育館で行われた「ポリショイサーカス」に母子福祉関係者を招待した。8月24日。

(3) 岐阜市内の母子家庭親子を東京ディズニーランド旅行へ招待

岐阜市内の母子家庭の親子を対象に、夏休みの親子の思い出作りを目的に、バス2台を用意し、東京ディズニーランド旅行に招待した。岐阜社会福祉事業協力会より同事業に指定寄付を受け、6月に中日新聞の紙面や岐阜市の広報を通じ募集し、8月23日から25日の2泊(車中)3日で行った。千葉県浦安市、東京ディズニーランド。



ディズニーバス旅行参加者より届いた、喜びの寄せ書き

◇医療事業

(1) 岐阜ダルクチャリティーコンサート

岐阜ダルクの「女性ハウス」運営活動に対し、協賛した音楽活動家によるチャリティーコンサートを後援した。5月12日。カトリック岐阜教会。



会場に響く歌声(岐阜ダルクチャリティーコンサート)

(2) 薬物依存症医療相談の実施

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として、薬物依存症患者に対しての電話相談を行った。年間11回。

(3) 介護者のつどいの実施

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、県内3ヶ所で年間36回開催した。認知症の人と家族の会の協力。

(4) 心の病家族相談センター開設

NPO法人岐阜県精神保健福祉会が開設する「心の病」家族相談センター事業を年間支援した。同福祉会連合会事務所。

(5) 難病団体激励金の贈呈

成田山から難病団体に対して指定寄付された助成金を難病団体に贈呈した。6月13日、岐阜支社。

(6) 医療講演会

ノーベル賞受賞で注目の集まるIPS細胞の臨床応用について、同プロジェクトリーダー高橋政代さんの講演会を日本網膜色素変性症岐阜県支部の主催で開催。多数の参加者を集めた。6月1日、岐阜市、長良川国際会議場。

ほか、腎臓病・精神疾患などに対する医療講演会やフォーラムを開催した。

◇福祉団体への助成事業

(1) 社会福祉団体共催金・助成金贈呈式

岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体に対して、今年度の事業共催金・助成金を贈呈した。8月8日、岐阜支社。

(2) 岐阜刑務所・笠松刑務所に種苗・球根を贈呈

(3) 社会福祉施設花いっぱい運動

社会福祉施設の環境美化を図るとともに、心に潤いのある生活を願って県下の各社会福祉施設に、春からの苗・種子・球根を贈り秋まで彩れる花壇作りを計画した。各種団体や中日新聞販売店の協力を得て、運動の成果を冊子にまとめ関係者に配布し、施設の内容や頑張りを紹介した。



収穫を喜ぶ利用者(岐阜市、大洞岐協苑で)

(4) 大相撲名古屋場所に招待

名古屋市の愛知県体育館で開催された、大相撲名古屋場所に福祉関係者を招待した。7月16～18日。

◇資金造成事業

(1) 年末助け合い運動

小規模作業所など福祉施設の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ11月25日から12月27日、年末助け合い運動を展開した。

(2) 郷土の美術家ぎふ展

12月7日から11日まで、岐阜市の岐阜高島屋で開催した。東海3県下で活躍する日本画・洋画・工芸・書の各部門の実力作家や人気作家の最新作200余点を販売、当日は開場前から100人ほどが並び好評を得た。高島屋別会場・シネックスホール。

◇援護事業の実施

(1) 自然災害発生の援護活動

東日本大震災・フィリピン台風災害・伊豆大島豪雨災害などの国内外の自然災害発生に際し義援金の受付などを実施した。また、中日新聞の紙面を通じ広く読者に支援を呼びかけた。

事業一覧

(岐阜支部)

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
4/1	「心の病」家族相談センター開設(毎週火・木)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	岐阜市・県精神保健福祉協会
4/6他	介護者のつどい(36回開催)	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜中日ビルほか
4/10他	薬物依存症医療相談(11回開催)	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜市・岐阜ダルク
4/11	チャリティーライブ(10回開催)	後援	岐阜県歌謡研究会	岐阜市・スタジオ105
5/12	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	岐阜ダルク	岐阜市・岐阜カトリック教会
5/23	岐阜県社会福祉施設「花いっぱい運動」	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県内50施設
5/24	笠松刑務所大運動会	協力	笠松刑務所	笠松刑務所運動場
6/1	日本網膜色素変性症医療講演会	後援	日本網膜色素変性症協会岐阜県支部	長良川国際会議場
6/2	チャイルドラインぎふ受け手ボランティア養成講座(11回開催)	後援	NPO法人チャイルドラインぎふ	岐阜市・コロンビア・ファッションカレッジ
6/13	難病団体激励金贈呈式	協力	中日新聞社会事業団 岐阜支部	中日新聞岐阜支社
6/30	岐腎協・医療講演会	後援	岐阜県腎臓病協議会	岐阜市・長良川国際会議場
7/3	「FC岐阜×ガンバ大阪」サッカー招待券贈呈	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜市・長良川競技場
7/10	やなせたかしと「詩とメルヘン」のなかまたち展ほか招待券贈呈	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県美術館ほか
7/14	ぎふ難聴者協会ミニ研修会・講演会	後援	ぎふ難聴者協会	多治見市総合福祉センター
7/16~18	大相撲名古屋場所に福祉施設関係者を招待	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	愛知県体育館
7/20	親子で狂言に岐阜市の母子を招待	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	名古屋市・名古屋能楽堂
7/26	岐阜県知的障害特別支援学校 チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	メモリアルセンター
7/29	精神保健福祉講演会	後援	岐阜県精神保健福祉連合会	岐阜市・日光コミュニティー
8/8	社会福祉団体共催・助成金等贈呈式	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	中日新聞岐阜支社
8/19	東海4県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会	後援	東海4県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会実行委員会	各務原市・市産業文化センター
8/20	プロ野球公式戦招待	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜市・長良川球場
8/23~8/25	東京ディズニーランドバス旅行	共催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	東京ディズニーランド
8/24	ポリショイサーカスに母子寡婦を招待	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	名古屋市・愛知県体育館
8/24	絵本原画の世界展ほか各種招待券贈呈	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	名古屋市美術館ほか
8/31	かがり火講演会	後援	岐阜県要約筆記サークルかがり火	岐阜市・市民福祉活動センター
9/9	スイミングカーニバル	後援	公益法人すくすく岐阜	岐阜市・長良川スイミングプラザ
9/16	岐阜ダルクフォーラム	協力	岐阜ダルク	岐阜県民ふれあい会館
9/23	岐阜市母子寡婦福祉大会	協力	岐阜市母子寡婦福祉連合会	岐阜市文化センター
9/29	岐阜県視覚障害者文化祭	後援	岐阜県視覚障害者協会	各務原市中央公民館

開催日	事業	主催 後援	主催者	会場
9/28～9/29	CPサッカー全日本選手権	後援	日本脳性麻痺7人制サッカー協会	長良川メドウ
10/6	長良川ふれあいマラソン	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	海津市・木曾三川公園 特設会場
10/6	飛騨市身体障害者体育大会家族運動会	後援	飛騨市身体障害者協会	飛騨市立神岡小学校
10/25	花いっぱい運動冊子配布および感謝状贈呈	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県内60施設、協力団体
10/28	身体障害者飛騨ブロック体育大会	後援	飛騨市身体障害者協会	高山市・飛騨高山 ビッグアリーナほか
11/2	県母子・父子家庭運動会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜アリーナ
11/3	岐阜県中濃ブロック身体障害者体育大会	後援	岐阜県中濃ブロック身体障害者協会	可児市総合運動場
11/16	第21回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、(社)岐阜県視覚障害者協会	各務原市・中部学院大学
11/18	ドームやきものワールド招待	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	名古屋市・ナゴヤドーム
11/18	美容セミナー	後援	日本網膜色素変性症協会岐阜県支部	岐阜市・市文化センター
11/18	岐阜県母子寡婦福祉大会で中日賞を贈呈	協力	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜市・長良川国際会議場
11/24	全国身障者グラウンドゴルフ大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	メモリアルセンター
11/25～12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
12/7～12/11	郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜市・シネックスホール
12/18	生活保護家庭の新入学児に図書券進呈	協力	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県庁
12/18	愛のともしび基金寄付	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県庁
12/23	年末助け合い年忘れ踊り大会	後援	郡上踊り新正春駒会	岐阜グランドホテル
1/2	服部正志視覚トリック3Dアート展招待券贈呈	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	星丘三越
3/1	岐阜ダルクフォーラム	協力	岐阜ダルク	岐阜県民ふれあい会館
3/28	劇団飛行船公演招待	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	長良川国際会議場

中日青葉学園

社会福祉法人中日新聞社会事業団中日青葉学園は、昭和35年4月、虚弱児施設として開設、児童福祉法改正に伴い、平成10年4月、児童養護施設に種別変更、平成15年10月、児童養護施設「あおば館」（定員70人）に新たに児童心理治療施設「わかば館」（定員35人）を加えた複合型児童福祉施設となった。園舎は平成15年、複合型施設に変わった際、全面改築し、あおば館は70人が男女別で集団生活する大舎制から、男女別で15人から18人が4つのグループで生活する中舎制に転換した。開設当初から、敷地内に日進市立日進中学校・北小学校の青葉分校として学習棟を設け、生活と教育を一体化して社会的養護が求められる児童の支援に当たっている。青葉分校も平成18年3月に建て替えた。25年度は、あおば館が中舎に生まれ変わり、わかば館が新設されて複合施設になって10周年を迎えた。

家庭で育てることができない子どもを社会全体で育てる国の政策が、大きな集団で育てる「施設養護」から小さなグループで育てる「家庭的養護」へ変わり、児童養護施設は、25年度に家庭的養護推進計画を作り、平成41年までに施設定員を45人以下とし、生活形態も小規模化をすることとなった。

あおば館では、15人から18人のグループ（中舎制）をより少ない人数にし、普通の家庭に近い環境で育てる「家庭的養護」とするため、ホームの規模を小さくする家庭的養護推進計画（別紙）を作成した。

10周年となる25年度、その第1弾として、女子ホーム「しらかば」を2つに分割、幼児専用の「さくら」（8人）、小学生以上の女子「しらかば」（8人）にした。2つの女子ホームに5人ずつ分散していた男女幼児のケアは専用ホームで行う。あおば館の体制は中舎3ホーム、小規模2ホームとなった。

「子ども6人を1軒の家で育てるファミリーホーム」への支援、連携をすることも求められており、25年、4月、東海市に元学園職員が開設したファミリーホーム「くらちゃんハウス」との連携を進めている。

複合施設10周年を迎え、恒例の青葉まつりに併せ、感謝の集いを開き、支援者、ボランティアなど関係の皆さんに感謝の気持ちを伝えた。

（1）感謝の集い

11月17日、第17回青葉まつりに併せ、式典を行った。学園長のあいさつに続き、日進市福祉部長が来賓あいさつ、学園長が協力者、協賛社、ボランティアの代表として日進市教育委員会学校教育課主幹に感謝状を手渡した。学園和太鼓クラブ「鼓太舞（こだま）」が元気よく太鼓演奏を披露した。10月26日に予定していたが、台風の影響で延期した。好天に恵まれ、地域の子どもたちをはじめ、日

曜日ということもあり、例年より保護者の姿が多く見られた。

(2) 安全対策

子どもたちが安心して学園で暮らせるように①わかば館もえぎホーム（男子）の小学生居室を2つに分割、小さくすることで、些細なことから子ども同士がトラブルになるのを防ぐようにした②尾三消防本部日進消防署による救急救命講習会で心肺蘇生法、AEDの使い方を学んだ③両館児童の全体会にあわせて月1回の避難・消火指導(10月は夜間想定避難訓練)を行った。

(3) 権利擁護

被措置児童虐待防止が児童福祉法に盛り込まれたのを受け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わりがないように、最優先事項として取り組んでいる。11月の全職員意識レポートなどを通じ、権利擁護への取り組みを再確認した。あおば館では4つのホームに意見箱、わかば館は食堂に児童相談センターあての「ミニレター」ボックスを設置、4月に中央児相がミニレターを児童に配布した。児童全員が集まる毎月の全体会で要望や苦情を口頭でも書面でもいつでも伝えてほしい、と話している。

(4) 合同職員研修

あおば館、わかば館両館の職員を対象に毎月の合同会議にあわせ研修を行っている。4月(家庭的養護推進計画)5月(25年度事業計画など)6月(中養協実習研究発表)7月(食中毒、熱中症)9月(学園課題、あおば館職員動向調査結果)10月(小規模経過報告、応急処置)11月(緊急時対応)1月(26年学園目標など)2月(感染症予防)3月(セキュリティシステム確認)。6月、2班に別れ、25年2月に開設した児童養護施設「宇宙(そら)」(一宮市)、4月開設のファミリーホーム「くらちゃんハウス」(東海市)を見学した。

(5) ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れており、ボランティア組織「青葉友の会」が次のような活動を続けている。

▽「竹の子会」 毎月1回第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕▽「児童英語サークル」 月3回、名古屋外国語大学生の英語教室▽「園十会」 月2回、パンジー、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ブルーリーフ」 ピクニック、野球招待での児童の引率補助など▽「ライラック」 月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い。児童インフルエンザ発症時は休止▽「クローバー」 月4回、幼児に絵本の読み聞かせと遊び、児童の家庭体験▽「若葉グループ」 青葉まつりなど各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月14日、クリスマスリース教室、

平成26年3月20日、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が12月21日、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動。

(6) 恒例行事

夏の目的別活動。▽A班 知多半島海の家(幼児)▽B班 郡上川遊び(小学生)▽C班 若狭海水浴(中高生)▽D班 酪農など体験(小学生)▽E班 知多半島釣り(小中高生)▽F班 映画鑑賞(小中生) —の6グループに分かれ、両館の子どもたちが行事を通して交流した。1泊2日、日帰りで余裕を持ったスケジュールを組んだ。

「青葉まつり」は好天に恵まれた11月17日、卒園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、ゲームや模擬店などを楽しみ、バンド・和太鼓演奏で練習の成果を披露。冬の行事クリスマス会はライオンズクラブの協力、もちつき大会はボランティアの協力を得て行った。

(7) 巣立ちの会

卒園を祝う「巣立ちの会」を平成26年3月21日、開いた。ことしの対象者は、高校卒業し専門学校へ進学するあおば館女子1人、就職するあおば館男子2人、わかば館男子1人。就職するあおば館・わかば館女子各1人、中学を卒業、家から進学・就職するわかば館男子・女子各1人。家に帰るあおば館男子1人・女子2人、他県施設に移るあおば館女子2人。9人が学園の思い出を語った。

会場は日本フラワーデザイナー協会愛知県支部、名港フラワーブリッジの協力で花がいっぱい飾られ、関係者はコサージュを胸につけて会に臨んだ。学園児童が前日、フラワーアレンジ作りを手伝った。

(8) 問題行動・事故

この1年間に、喫煙指導3件、ガラス破損3件、小学生の性化行動4件、高校生同士の性問題1件、自転車事故4件、遊び中のけが2件、無断外出3件、児童から職員への暴力2件があった。事案ごとに当事者への指導、関係者への謝罪をした。学園職員が児童に不適切な関わりをしたことが分かり、職員、学園長を懲戒処分した。

(9) 苦情・意見

「特定の子だけが優しくされる」「いじめられる」「お小遣いを増やしてほしい」「室内ブルペンを作してほしい」「ドラゴンズ選手に来てほしい」など投書があった。特別な課題を抱えている子に個別対応をすることが不満につながっており、投書のある都度、関わりを持ち心の安定を図った。いじめに対しては、関係する子どもたちを交えて話し合いをした。「お小遣い・ブルペンは現状では難しい。ドラ選手はスケジュールが合わず来れない」と児童全体会で伝えた。

(10) 指導監査

愛知県、厚労省の指導監査がそれぞれ10月にあり、県から「預かり金規程が実態とあっていない」などと指摘があった。預かり金、通帳、印鑑の保管場所を見直し別々に管理する。

(11) 学園見学

自治体、学校など次のような施設見学があった。▽4月、中日新聞社新入職員40人▽5月、キンダーホルト調理部▽8月、武蔵野学院▽9月、椋山女学園大学▽10月、東京・恵明学園愛知総合看護福祉専門学校35人▽12月、松籟荘、看護学校、愛知学泉短期大学、みどり自由学苑▽平成26年1月、日本特殊陶業社長▽2月、日進市民生児童委員25人▽3月、赤羽根学園心理士

1月7日、愛知県議会健康福祉委員会が県内調査であおば館小規模ケア取り組みについて視察。

(12) 職員表彰

次の皆さんを表彰した。

①あおば館阿尾匡晃主任指導員、村野知世・中田有香・角谷ひとみ・印藤義子保育士 10月に開設した小規模グループ「さくら」ケアに道筋をつけた。②あおば館鵜飼直樹・岩田麻里・篠原江里児童指導員 10月に開設した小規模グループ「しらかば」ケアに道筋をつけた。③あおば館もみじホーム職員、川角恭代児童指導員、山内早苗臨床心理士 特別な個別対応が必要な児童を手厚いケアで支えた。④わかば館石垣儀郎指導課長、横井直子主任指導員、山本秋子臨床心理士 被虐待児童に犬を使ったアニマルセラピーを導入、成果を日本子ども虐待防止学会で発表。⑤わかば館高寄孝一指導係長、伊藤洋一主任指導員、大嶋隆志主任心理士、大嶋昭範児童指導員 ソフトボール、フットサル、サッカー指導に当たり、ソフト初優勝、フットサル2年連続優勝、サッカー3年連続優勝と初の三冠達成に貢献。

10月、第61回愛知県社会福祉大会で学園長、武弘和通事務係長、相馬路子あおば館主任児童員に愛知県社会福祉協議会から勤続感謝状。

(13) 施設整備

厨房、幼児ホームに調理などに使う水を殺菌する装置を設けた。幼児ホーム窓ガラスに花粉、埃を分解する特殊な薬剤を添付した。学園内整備を外注、側溝清掃、しらかばホーム前通路作りなど職員の人手不足を補った。

(14) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、カツサンドなど新しいメニューに反映させたり、「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒にギョウザなど夕食作り。また、ホームを回りキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、

賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当たった。大地震などの災害時に備え、備蓄食料、緊急時給食法などをまとめた調理マニュアルを作成した。

(15) 事務

6月、副学園長ポストを設け、近藤わかば館長が就任。中日新聞社会事業団の大学進学支援として、3年目になる短大生と2年目になる専門学校生の女子2人を応援する。

(16) 外部との関わり

園長が日進市社会福祉協議会理事、尾張東部圏域保健医療福祉推進会議・尾張部虐待防止連絡会議・日進市保育推進委員会・日進市民生委員選定各委員を、わかば館長、事務長、指導療育部長兼あおば館指導課長、わかば館指導課長、わかば館心理士、あおば館指導係長が大学などで福祉関係者を養成する講座での非常勤講師を、あおば館指導課長、あおば館心理士があおば館での大学、大学院の心理士研修講師を、わかば館指導課長が日進市障害基本政策等策定委員、日進市障害福祉子ども部会委員を務めた。

日進市要保護児童対策協議会ネットワーク会議に9月から、あおば館わかば館両指導係長が参加、地域との連携を深めることになった。

11月、日進市健康福祉フェスティバルに出展、パネルで学園を紹介。同月、日進グリーンハイツ自治会と合同防災訓練で避難・消火訓練、炊き出しをした。

(17) 第三者評価

3年に1回義務付けられた第三者評価について、あおば館は平成26年1月24、26日、わかば館は11月14、15日に受審した。「養育・治療」「家族支援」「自立支援計画・記録」「権利擁護」など96-98項目にわたり評価され、結果を今後ケアの改善に役立てる。

(18) その他

近藤館長が春の叙勲で永年にわたる児童福祉の功労に対し、瑞宝単光章を受け、皇居で勲章を授与され、12月、関係者約100人が集まり、叙勲を祝う会を開いた。

社会事業団主催の第2回ソーイング教室であおば館わかば館の女子児童がクマ、ウサギのぬいぐるみを作り、ひな祭りで披露した。

児童養護施設 あおば館

あおば館は、2フロア4ホームの中舎制（1ホーム15人から18人）から10月1日、小規模2ホーム、中舎3ホームに変わった。小規模は2階旧女子「しらかば」を2つに分割、男女幼児8人の「さくら」、小学生以上の女子8人の「しらかば」。中舎は2階男子「けやき」、3階男子「ひのき」女子「もみじ」の3ホーム。幼児は男女混合で女子ホーム「しらかば」「もみじ」に5人ずつ入っていたが「さくら」にまとめ、幼児だけの養育ができるようになった。寺井陽一指導療育部長兼指導課長のもと、川上知幸指導係長をはじめ職員20人（うち2人心理士）、看護師1人（8月退職）、パート職員4人が児童のケアに当たった。

（1）入所実績

あおば館定員は70人。この1年間に新たに8人（男子4人、女子4人）が入所、10人（男子6人、女子4人）が退所。

25年4月、小学校へ4人（男子2人、女子2人）、中学校へ4人（男子3人、女子1人）、高校へ6人（男子3人、女子3人）それぞれ入学した。26年3月、小学校を5人（男子3人、女子2人）、中学校を7人（男子5人、女2人）、高校を3人（男子2人、女子1人）が卒業。中学校を卒業した7人は高校、養護学校へ進学、高校を卒業した2人は就職、1人は専門学校に進学した。高校生5人（男子2人、女子3人）が退学した。

今年度延べ入所者は22,176人。一時保護は30人（男子17人、女子13人）延べ875日。日進市との子育て支援事業対象児童はなかった。

（2）生（性）教育委員会

児童間のトラブル、性的な問題についてその都度、職員会議や委員会で取り上げ、情報を共有、関係児童を指導して事が大きくなる前に芽を摘むようにしている。CAP暴力防止プログラムとして職員・幼児・小学低学年・同高学年各ワークショップをしたほか、男女別に小グループで性教育を実施した。性的問題を起こした関係児童に対しては、加害者には指導・再教育、被害者には心のケアを行った。

（3）食育委員会

月1回、各ホームの職員、栄養士、調理員が集まり、「残食を減らす。おいしく楽しく食事するためのマナー向上」について取り組んでいる。調理部と現場（子ども、職員）間で情報交換し、「子どもの声を調理部へ、調理部の声を子どもへ」と相互理解を深めている。また、「もみじ」「しらかば」「ひのき」ホームで子ども、調理員、現場職員が夕食（ギョウザなど）作りをした。子どもと話し合っメニューを決め、買い物に行き、協力しながらおかずを作り、温かい雰囲気

中で食事をした。

(4) 心理対応

常勤2人、非常勤1人の心理士3人体制。カウンセリングやプレイセラピー、SST（怒りのコントロール）などの個別心理療法を31人に実施。外部の心理士1人を交えて、小学生高学年4人に対して、集団心理療法「心の教室」を15回実施した。進路支援として「進路発見応援セミナー」を開催し、職業適性検査を受検したり面接の練習を行い、7人全員が高校へ進学した。性教育支援として、中高生対象の性教育セミナーの開催、個別の性教育を実施した。また、学園近くの椋山女学園大学心理臨床相談室の協力で3人が同大学へ赴き、心理療法を受けた。

(5) 個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として被虐待児童34人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるよう関係調整を進めていくもので4人が家庭復帰した。保護者がいても都合で帰省できない児童について、家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

(6) 退所者支援

家庭復帰した後、事情があって家出した子を保護、家族調整した。高校を中退し、退所することになった児童2人について、就職先、アパート探し、各種手続きなど自立に向けて応援した。退所、就職したが、仕事を継続することが難しいなど応援が必要な男女約10人の支援を続けている。お盆、年末年始には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」で宿泊した。

(7) 職員研修

職員の援助技術の向上を図るため、愛知県社会福祉協議会主催の直接処遇職員、愛知県施設長会研修委員会主催の新任、子ども支援専門・マネジメント・栄養士調理員・家庭支援専門相談員各部会の研修のほか子どもの虐待防止セミナー、性教育、心理職研究会など各種研修に参加した。

(8) 実習生

実習生受け入れでは大学、専門学校の学生56人が保育実習、14人が社会福祉援助技術実習、大学・大学院の学生57人が心理実習、19人が介護等体験を行った。

(9) 学習

公文での算数に取り組んでおり、小学生17人が週2日、日本公文教育研究会主任研究員の巡回指導をはじめ、担当職員、学生ボランティアのアドバイスを受けながら学んだ。高校進学を目指す中学生4人が近くの塾へ通い2人が学園内で家庭教師の形で学習指導を受けた。名古屋外国語大学ボランティアの英語

教室(隔週)には小中学生が参加した。

(10) スポーツ活動

児童福祉施設入所児童夏季球技大会(県児童福祉施設長会主催)では、ソフトボール1部に1チームが参加、準優勝。卓球は団体戦に2チーム、個人戦で11人がエントリー。団体戦でAチームが3位、個人戦「中高男子」で高校2年生が2年連続優勝、中学3年生が3位入賞した。

11月のサッカー交流会では準優勝。12月の施設長会フットサル大会で中高男子の部で準優勝した。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習等の受け入れ」「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「被虐待児の受け入れ」「一時保護」「退所児童支援」「福祉避難所」「里親支援」の8項目で8.5ポイントを得た。

(12) 幼児対応

幼児のうち年長だけがベタニヤ幼稚園に通っていたが、今年度から年少、年中も登園するようになった。園内保育に当たっていたベテラン保育士2人(非常勤)は10月から幼児ホーム「さくら」に入っている。

(13) その他

地域との交流活動として、小学生(希望者)が市場町側子ども会に加入、7人が歓迎会、ドッジボール・キックベースボール大会、夏・冬のお楽しみ会、白山宮秋祭りに参加した。

情緒障害児短期治療施設 わかば館

青葉学園は一つの理念のもと、あおば館との連携の強化を図り、夏の目的別活動など両館児童の合同行事に積極的に参加をした。

わかば館は、「もえぎ」(男子)「あさぎ」(女子)(いずれも2階)の2ホームで生活、食事は1階食堂でとる。石垣儀郎課長以下、指導員、保育士11人、心理士4人、看護師1人、パート職員1人が支援している。

24年度は入所児童の問題から新規の入所児童の受け入れが難しい時期があり、入所定員に対し充足率が90パーセントを切った。そのため今年度は1人減の暫定定員となった。今年度はその反省にたち、入所児童の生活における構造化を図り、安定した施設空間を取り戻すため、安全、安心なわかば館の再構築に取り組んだ。小さなトラブルは常に発生するものの、大きな問題に発展することなく治療効果をあげることができた。

26年度については暫定定員が解消される見通しとなった。

何よりも治療施設としての専門性を図るため、児童指導員、保育士、心理士、看護師が一体となって一層の努力を傾注していきたい。

(1) 入退所実績

わかば館定員は35人。この1年間に新たに8人(男子4人、女子4人)が入所、8人(男子4人、女子4人)が退所した。4月、中学校へ2人(男子1人、女子1人)が入学した。26年3月、小学校を5人(男子2人、女子3人)、中学校を5人(男子4人、女子1人)が卒業。中学校を卒業した4人は高校へ進学、男女各1人ずつが家庭復帰、男子2人はわかば館から通学する。男子1人は家庭復帰し就労支援を受けて自立の道を模索する。高校を卒業した男子1人は自動車部品製造の仕事に就いた。また、昨年度義務教育を修了し1年間就労支援を受けていた女子児童も社会復帰の見通しが立った。

今年度延べ入所者は11,712人。一時保護は8人(男子4人、女子4人)、延べ269日。

(2) 心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や虐待を受けた子どもが増え、対応が難しくなっている。心理職4人がわかば館1階の治療棟で入所児童全員を対象に、小学生は週1回、中学生は隔週1回、箱庭・遊戯療法の心理治療や心理教育プログラムを、高校生には随時、カウンセリングを行った。

また、非常勤の精神科医5人には児童との面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から児童との関わり持って頂いた。児童の状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

あおば館の男子小学生1人の心理治療をわかば館の心理士によって実施し、性化行動に対する行動抑制とトラウマの軽減に繋げる取り組みによって、一定の治療効果が認められた。26年度も継続治療を実施する。

(3) 家庭支援

児童一人ひとりのケアプランに従って生活指導、心理治療に当たっているが、生育歴など状況を調査検討するインテークを実施し家庭復帰に備えた。

被虐待児童が増えたことから、家族再統合に向け家庭支援専門員と生活担当職員が保護者支援にあたり、2人が社会自立をし3人が家庭復帰を果たした。

(4) SST (ソーシャル・スキルズ・トレーニング)

児童が社会にうまく溶け込めるように具体的な社会行動を学ぶSSTを取り入れている。高等養護学校に進級した児童に学校までの通学練習や定期券購入等の練習を行い、学校生活の安定的導入を図り順調に学校へ通うことができた。

(5) 児童支援

中学を卒業し、高校へ進学した児童については、入学準備金などの公的な社会資源調整を図った。

医療機関との連携も密に行い、毎月1回10人の児童があいち小児保健医療総合センター(大府市)に通院し治療効果を向上させた。同センターでの年1回の定期カンファレンス(援助検討会)と虐待ネットワーク会議4回には職員4-5人が参加、日々の療育、心理社会的治療に役立てた。

日々の取り組みでは、男子女子児童ともに「わかばの暮らしをよくするための自己点検(チェック表)と話し合い」を児童主体で実施し、児童と職員が1日の振り返りを通して話し合いを行った。

(6) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師17人が専門性の高い各分野の研修に参加。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設4施設との共同研修として心理部会を年3回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース報告を指導にいかした。また、中部ブロック職員研修運営委員会を新たに立ち上げ、大嶋心理士が研修運営委員に選出され活動した。

施設内研修では、外部講師を招き他分野の専門的視点を取り入れ子どもの発達障害並びに被虐待児童の援助を学んだ。認定作業療法士の講義では、感覚統合と姿勢動作から見る援助方法。ドッグセラピーでは、認定心理士が犬を使って行う「動物介在療法」を通して愛着形成の修復と人との関係性の構築を研究。学会でも発表し、論文化に着手した。

(7) 実習生

実習生受け入れでは、保育士実習で大学生26人が6-10日間と、社会福祉士実習で10人の学生が15日間に6人と24日間に4人、合わせて36人(延べ418日間)の実習を行った。

(8) 学習

公文での算数に取り組んでおり、中学生7人が週3日、日本公文教育研究会主任研究員の年3回の巡回指導をはじめ、担当職員、ボランティアのアドバイスを受けながら学んだ。ボランティアが高校受験に向けて中学3年生女子1人と、高校生女子1人に大学の英語の先生が家庭教師のスタイルで学習指導を実施し、成績向上に繋がった。

(9) 生活訓練

家庭復帰や就職しての寮生活に向け家族療法室を使い、買い物、調理、洗濯など日常生活を体験したりバス、地下鉄の切符を自分で購入する外出のほか、児童がスーパーで材料を購入、自分たちで料理やお菓子を作った。

(10) スポーツ活動

愛知県児童福祉施設入所児童夏季球技大会(県児童福祉施設長会主催)では、ソフトボール1部に1チーム、卓球団体戦に1チーム、個人戦に7人が参加し、ソフトボール1部で施設開設以来、初めて優勝を果たすことができ、監督、コーチ、選手児童らが歓喜の輪に包まれた。

また卓球の小学生個人の部では小学6年生の男子が準優勝した。

親善マラソンには16人が参加し、全員が完走を果たした。

また、サッカー交流会では小学生から高校生男子の10人とフットサル大会においては、中学生高校生男子6人が参加し13チームのなかで、両種目ともに優勝に輝き傑出した成績を収めることができた。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「一時保護委託事業」「保護者支援活動」の5項目で4ポイントを上げた。

(12) その他

昨年に引き続き基幹的職員の課長が、日進市障害者基本計画等策定・評価委員会に委員として、障害者基本計画、障害福祉計画の策定・見直しとその進捗の点検・評価に加わった。家庭支援専門相談員の係長が日進市の要保護児童対策会議に出席し、地域の要保護児童の現状の把握と意見交換を行った。

小学生の発達障害児童の入所増に伴い、対人トラブルが絶えないため、年度末に男子もえぎホームの4人部屋を2人部屋2室に改造する工事を行い、児童の生活空間の安定に繋げる取り組みを進めた。

社会福祉法人中日新聞社会事業団 中日青葉学園あおば館家庭的養護推進計画

社会福祉法人中日新聞社会事業団中日青葉学園は、昭和35年4月、虚弱児施設として定員30人で開園。2年後の昭和37年、定員70人に増員、平成10年、児童福祉法改正に伴い児童養護施設に種別変更。平成15年、建て替えを機に児童心理治療施設を新設、児童養護施設は大舎制から中舎制に転換、児童養護施設「あおば館」（定員70人）、情緒障害児短期治療施設「わかば館」（定員35人）を併せ持つ複合型児童福祉施設となった。虚弱児施設であったため開設当初から地元日進市教育委員会の協力で敷地内に「日進市立北小学校・日進中学校青葉分校」を設け、生活と学校教育を一体的に行っている。

大舎制では、児童70人が居室は男女別、食事は大食堂で全員一緒に取り、入浴は大浴場を利用するなど、生活は大所帯だった。中舎制では1人部屋2、2人部屋4、複数部屋2、リビング、キッチン、トイレ、風呂の8LDKで1つのホームを構成、15人から18人が1つのグループとして暮らすように変わった。ホームは2階男子「けやき」、2階女子「しらかば」、3階男子「ひのき」、3階女子「もみじ」と男女各2ホームが2フロアに分かれ4つの中舎ホームとなった。児童70人のうち、幼児10人は男女混合で5人ずつ、女子ホームの「しらかば」「もみじ」に入った。

「施設養護から家庭養護、家庭的養護へ」を柱にした「社会的養護の課題と将来像」を受けた「児童養護施設は平成41年までに小規模化を進め、本体施設定員45人以下とする」との家庭的養護推進計画に基づき、あおば館は次のように中舎制から小規模グループに移行する。

第1期として大舎制から中舎制に変わって10年目の平成25年10月、女子ホーム「しらかば」を2分割、小規模グループホーム（8人）2か所「しらかば」（小学生以上女子）「さくら」（男女混合幼児）を開設した。（中舎3ホーム、小規模2ホーム、定員70人）

第2期は平成26年から平成33年まで。平成33年、中舎1ホーム「けやき」を2分割、小規模グループホーム（6人）2か所とする。（中舎2ホーム、小規模4ホーム）。平成26年から平成32年までの7年間に年150万円積み立て、1050万円を改修の自己資金に充てる。改修費用は4000万円、4分の3は補助金を充てる。平成33年度定員は58人。既設小規模2か所（各8人、16人）、新設小規模2か所（各6人、12人）中舎ホーム2か所（各15人、30人）

第3期は、平成34年から平成37年。平成37年、中舎1ホーム「もみじ」を小規

模1ホーム(8人)に改修。平成34年から平成36年まで3年間に450万円積み立て、改造費に充てる。補助金を見込まず全額自己資金。平成37年度定員は51人。小規模5か所(8人定員3ホーム、6人定員2ホーム)中舎1ホーム(15人)

第4期は平成38年から平成41年。平成41年、残る中舎1ホーム「ひのき」を小規模1ホーム(8人)に改修。平成38年から平成40年まで3年間に450万円積み立て、改造費に充てる。補助金を見込まず全額自己資金。平成41年度定員は44人。小規模6か所(8人定員4ホーム、6人定員2ホーム)。

第3、4期で中舎ホームを分割しないで小規模に改修する2ホーム「もみじ」「ひのき」について、余裕が出てくる居室は、日進市子育て支援ショートステイ児童、里親のレスパイトケアに充てる。

ファミリーホーム支援連携については、平成25年4月、あおば館元職員が東海市に開設したファミリーホーム「くらちゃんハウス」と経理事務アドバイス、あおば館行事への参加、レスパイトケア、職員相互交流などを進める。あおば館職員の中で、新たにファミリーホームを開く希望者があれば同様に支援連携していく。

平成26年3月25日開催の理事会で承認。

中日青葉学園人員構成

▽職員構成・職員数（平成26年1月1日）

あおば館 (児童養護施設)	人員	担当職務
館長（学園長）	1	運営管理
指導療育部長（課長兼務）	1	統括（わかば館兼務）
事務長	1	事務統括（わかば館兼務）
指導係長	2	生活指導（統括）
主任指導員	2	生活指導
指導員・保育士	12	生活指導
心理士	2	心理治療（生活指導）
事務員	1	経理事務（生活指導兼務）
栄養士	1	栄養管理
給食係	4	給食実務
嘱託医	1	健康診断
看護師（非常勤）	0	健康管理
非常勤・パート	5	生活指導補助、心理治療、幼児教育
小計	33	
わかば館 (情緒障害児短期治療施設)	人員	担当職務
館長	1	運営管理
医師（非常勤）	6	医療業務
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導（統括）
主任指導員・保育士	2	生活指導
指導員・保育士	6	生活指導
看護師	1	健康管理
主任心理士	1	心理統括（生活指導）
心理士	3	心理治療（生活指導）
事務係長	1	経理事務
給食係	4	給食実務
非常勤・パート	2	生活指導補助
小計	29	
合計	62	

▽児童数（平成26年3月1日）

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男子	1	15	10	7		33
	女子	5	8	6	8		27
わかば館	男子		8	6	3		17
	女子		10	7	1	1	19
計		6	41	29	19	1	96

25年度中日青葉学園主な出来事

開催日	事業名
4月5日	日進中学校入学式(6人)
8日	北小学校入学式(4人)
9日	ベタニヤ幼稚園入園式(1人)
11日	JA三重南紀が柑橘類寄贈
26日	青葉分校スポーツフェスティバル
29日	卒園生、退職職員交流の「第3回つつじの会」
5月3日	GW外出名古屋市内
4日	GW外出イチゴ狩り
5日	GW外出
6日	GW外出
10日	近藤館長春の叙勲で瑞宝単光章受章
21日	社会事業団理事会で24年度決算・事業報告承認
6月4日	中部児童養護施設協議会岐阜大会に参加 小規模ケア実習研究発表
8日	ボランティア清掃活動。青葉スポーツ大会
17日	職員研修1班宇宙・くらちゃんハウス見学(2班は20日) 理美容奉仕(夜間も)
18日	児相・施設合同研修会
29日	ソーイング教室1回目
7月4日	熱中症対策など園内研修
14、15日	目的別活動A 幼児海水浴ほか
19日	救命救急講習会
25、26日	目的別活動C 若狭の海
28、29日	目的別活動B 郡上
30、31日	目的別活動D 伊賀
8月1、2日	中日子ども村
4日	あおば館劇団飛行船招待
8日	社会事業団理事・評議員会役員改選
13日	わかば館お盆外出

- 14日 あおば館お盆外出花火大会
- 15日 あおば館お盆外出プール
- 19日 施設長会ソフトボール大会参加
- 21日 施設長会卓球大会参加
- 22日 犬のふれあい訪問
- 23日 目的別活動E, F
- 25、26日 高校生交流会参加
- 29日 ボウリング招待
- 30日 わかば館夏祭り
- 9月5、6日 全国施設長研修会
- 9日 竹の子会理美容奉仕
- 17日 日進市要保護児童対策協議会ネットワーク会議に両館係長が参加
- 18日 あおば館しらかば・さくらホーム見学会
- 19日 日進中学校体育大会
- 28日 北小学校運動会
- 10月1日 あおば館小規模しらかば・さくら開設
- 14日 清掃活動日・名古屋外国語大参加
愛知韓国青年商工会焼肉パーティ
- 17日 県指導監査
- 11月3日 中部善意銀行UFJ小学生招待
- 9日 サッカー交流会わかば館優勝
- 10日 日進市健康福祉フェスティバルに出展
- 13日 白山宮へ七五三参り
- 17日 10周年感謝の集い、第17回青葉まつり
- 24日 音楽の集い豊田大会に参加、日進グリーンハイツと合同防災訓練
- 29日 お菓子の家フレベールケーキ作り
- 12月7日 近藤副学園長叙勲を祝う会
- 14日 NFDクリスマスリース教室
- 20日 ライオンズクラブを迎えてクリスマス会
- 21日 中日森友隊園内整備
- 23日 名古屋スポーツセンタースケート招待
- 25日 フットサル大会わかば館優勝、あおば館準優勝

- 30日 餅つき大会
- 1月1日 猿投神社初詣
- 7日 愛知県議会健康福祉委員会視察
- 17日 白山スキー村に参加
- 29日 寿し正さんがちらし寿司提供
- 2月2日 親善マラソン大会に参加
- 17日 さくらホームナガシマスパーランドへ
- 22日 わかば館鈴鹿サーキットへ
- 23日 しらかばホーム神戸日帰り旅行
- 28日 高校卒業式
- 3月1日 あおば館ひのき・もみじナガシマスパーランドへ
- 2日 学園ひな祭り
- 6日 日進中学校卒業式(12人)にしんにこにこウォーク参加
青葉友の会総会
- 20日 北小学校卒業式(10人)
- 21日 巣立ちの会・退園パーティ
(あおば館8人、わかば館5人)
- 22日 ベタニヤ幼稚園卒園式(女子3人)
- 24日 ラーメン慰問
- 25日 事業団理事会で25年度補正予算、26年度事業計画・予算・あおば
館家庭的養護推進計画承認
- 27日 いちご動物園来園
- 28日 木下大サーカス名古屋公演招待(15日も)

主な行事の写真



青葉分校スポーツフェスティバル(4月26日)



第3回つつじの会(4月29日)



中養協小規模実習研究発表(6月4日)



夏の目的別活動・幼児(7月15日)



施設長会ソフトボール大会(8月19日)



日進中学校体育大会(9月19日)



北小学校運動会(9月28日)



サッカー交流会(11月9日)



白山宮で七五三参り(11月13日)



10周年感謝の集い(11月17日)



第17回青葉まつり(11月17日)



フレベールケーキ作り(11月29日)



クリスマス会(12月20日)



餅つき大会(12月30日)



寿し正さん寿司提供(1月29日)



さくらホームナガシマへ(2月17日)



学園ひな祭り(3月2日)



巣立ちの会(3月21日)

平成25年度 高額寄附(一般)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
福島厚子	名古屋市	加藤等	名古屋市
トヨタ部品愛知共販(株)	名古屋市	松本三良記念福祉会	東海市
愛知県書店商業組合	名古屋市	名鉄交通(株)	名古屋市
(株)中日ドラゴンズ	名古屋市	名古屋国際婦人クラブ	名古屋市
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	協栄興業(株)	東海市
大西朗	刈谷市	協栄会 協友会	東海市
東邦不動産(株)邦和スポーツランド	名古屋市	河口安子	春日井市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	碧海信用金庫 碧友会	安城市
税理士法人のぞみ	名古屋市	東郷産業(株)	名古屋市
中央電気工事(株) 電友会	名古屋市	安藤正明	名古屋市
加藤好章	刈谷市	名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市
(株)真城ホールディングス	名古屋市	(株)京ヶ野ゴルフ倶楽部	名古屋市
東海地区プロボラーズ選手会	名古屋市	トヨタ紡織 係長会	刈谷市
ミッドランド税理士法人アライアンス	四日市市	トヨタ紡織 職長会	刈谷市
愛知県ボウリング場協会	稲沢市	名古屋中ロータリークラブ	名古屋市
(株)コロンビア	稲沢市	昼川美津男	刈谷市
(株)スタジオノーブル	名古屋市	中部日本書道会	名古屋市
深川弘則ほか3名	知多市	名古屋トヨペット(株)	名古屋市
知多信用金庫	半田市	新東工業(株)	名古屋市
尾西作家協会 河出幸之助	一宮市	豊川閣妙巖寺 豊川稲荷	豊川市
あいち知多農業協同組合	常滑市	黒野清宇	名古屋市
NDS(株)	名古屋市	五月会	名古屋市
(社)愛知県LPガス協会	名古屋市	名古屋競馬(株)	名古屋市
(株)丸栄	名古屋市	国際ソロプチミスト名古屋	名古屋市
愛知県中古自動車販売商工組合	飛鳥村	稲沢市職員互助会	稲沢市
愛知日産自動車(株)	名古屋市	鞍馬山別院 弘恵寺	豊田市
トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市	国際ソロプチミスト名古屋一中	名古屋市
中島特殊鋼(株)	大府市	高田中高等学校生徒会	津市
AIRG(あいある)	東浦町		

平成25年度 高額寄附(一般)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
室石祐	小松市	新金沢郵便局管内 匿名	
金沢ライオンズクラブ	金沢市	新金沢郵便局管内 匿名	
東海朝輝	金沢市	新金沢郵便局管内 匿名	
こばと保育園・第二保育園	小松市		

東海支部 (10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
竹林寺バザーの会	浜松市	第32回ふるさとチャリティー色紙展	浜松市
アベル(株)	浜松市	静岡第三同志会	袋井市
浜松仏教会	浜松市	浜松倉庫(株) 従業員一同	浜松市
浜松市現代書作家クラブ	浜松市		

東京支部 (10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
三多摩理容協調会	多摩市	匿名	豊島区
小さな親切運動ちばぎん支部	千葉市		

岐阜支部 (10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
岐阜県指定自動車教習所	岐阜市	岐阜信用金庫	岐阜市
ぎふ美濃ゴルフ倶楽部	美濃市	NTTボランティアサークルひまわり	岐阜市
間野源師	山県市	中日ドラゴンズチャリティーオークション	岐阜市
ゾンタ	岐阜市	岐阜県歌謡研究会	岐阜市
全日本ロータス同友会県支部	岐阜市		

平成25年度 高額寄附(指定)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
(株)今仙電機製作所	犬山市	フィリピン台風災害
ナゴヤアドベンチャーマラソン 実行委員会	名古屋市	フィリピン台風災害
名古屋競馬(株)	名古屋市	フィリピン台風災害
(株)エスワイフード	名古屋市	フィリピン台風災害
山田学区自治会	名古屋市	フィリピン台風災害
トヨタ紡織(株) 労働組合	刈谷市	フィリピン台風災害
(株)フィールコーポレーション	名古屋市	フィリピン台風災害
杉浦史郎	岡崎市	フィリピン台風災害
星電気(株)	小牧市	フィリピン台風災害
(株)山水フーズ	伊勢市	フィリピン台風災害
渡邊登美子	知立市	フィリピン台風災害
三協(株)	名古屋市	フィリピン台風災害
(株)サム	名古屋市	フィリピン台風災害
藤田保健衛生大学病院	豊明市	フィリピン台風災害
愛知製鋼労働組合	東海市	フィリピン台風災害
(株)真城ホールディングス	名古屋市	伊豆大島豪雨災害
(株)江口巖商店	名古屋市	伊豆大島豪雨災害
(株)エクチ	名古屋市	伊豆大島豪雨災害
愛知県女性団体連盟	名古屋市	伊豆大島豪雨災害
ギャラリー聚	名古屋市	あいち骨髄バンクを支援する会
おおやま歯科医院 大山吉徳	名古屋市	あいち小児保健医療センターほか
東海労働金庫共済会	名古屋市	あしなが育英会震災遺児支援
桑名石取祭保存会	桑名市	あしなが育英会震災遺児支援
(株)豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
(株)ロイヤルフрендシップ	豊田市	中部盲導犬協会
徳弘妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
富田歌子	名古屋市	中部盲導犬協会
アントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
(株)井高	名古屋市	東海交通遺児等育成基金
福島厚子	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車(株)親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
(株)メイド	豊田市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売 商工組合	飛鳥村	東海交通遺児を励ます会

平成25年度 高額寄附(指定)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
中部交通共済協同組合	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
犬山成田山索の会	犬山市	難病者激励金
西浦不動無量寺	蒲郡市	日本対ガン協会 愛知県支部
愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳外傷友の会みずほ
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
(株)ナナミ	七宝町	青葉学園
(株)名西運輸	名古屋市	青葉学園
(有)湧川	豊田市	青葉学園
水谷寿々子	名古屋市	青葉学園
(株)服部工務店	名古屋市	青葉学園
中日新聞印刷(株)	名古屋市	青葉学園

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

平成25年度 高額寄附(指定)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上※東日本は除く)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
新金沢郵便局管内 匿名		伊豆大島豪雨災害義援金
ミタチ産業	名古屋市	フィリピン台風災害義援金
新金沢郵便局管内 匿名		あしなが育英会

東海支部 (10万円以上※東日本は除く)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
ネットトヨタ浜松(株)懇話会	浜松市	交通遺児義援金
三恵(株)	磐田市	フィリピン台風災害義援金
浜松学院中学校高等学校	浜松市	フィリピン台風災害義援金
湖西市市議会 議員互助会	湖西市	伊豆大島豪雨災害義援金
国際ソロブチミスト浜松	浜松市	フィリピン台風災害義援金
浜松学芸中学高等学校	浜松市	伊豆大島豪雨災害義援金
松浦梱包輸送(株)	掛川市	フィリピン台風災害義援金
ユタカ技研労働組合	浜松市	フィリピン台風災害義援金
ユタカ技研労働組合	浜松市	伊豆大島豪雨災害義援金

東京支部 (10万円以上※東日本は除く)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
匿名	さいたま市	たまきはる福島基金
匿名	豊島区	たまきはる福島基金
匿名	世田谷区	たまきはる福島基金
ボーイスカウト東京連盟台東第七団	台東区	伊豆大島豪雨災害義援金
匿名	西東京市	伊豆大島豪雨災害義援金
社団法人川崎市子ども会連盟	川崎市	伊豆大島豪雨災害義援金
成田一徳	荒川区	フィリピン台風災害義援金
匿名	世田谷区	フィリピン台風災害義援金
匿名	世田谷区	フィリピン台風災害義援金
社団法人川崎市子ども会連盟	川崎市	フィリピン台風災害義援金
匿名	さいたま市	緊急災害時動物救援本部
匿名	世田谷区	あしなが育英会東北レインボーハウス建設募金

平成25年度 高額寄附(指定)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)敬称略、順不同

岐阜支部 (10万円以上※東日本は除く)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	岐阜市母子寡婦福祉連合会(TDLバス旅行)
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	岐阜県内社会福祉施設(花種苗)
中日新聞販売店会	岐阜市	岐阜県内社会福祉施設(花種苗)
ホームステイぎふ	岐阜市	フィリピン台風災害義援金
大垣養老高校PTA	垂井町	たまきはる福島基金
太田小学校児童会	美濃加茂市	フィリピン台風災害義援金
ラスパ募金活動	美濃加茂市	フィリピン台風災害義援金

社会福祉法人 **中日新聞社会事業団**

	所 在 地
本 部 事 務 局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北 陸 支 部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東 海 支 部	〒435-8555 静岡県浜松市東区薬新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-5987
東 京 支 部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐 阜 支 部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護施設・情短施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315